

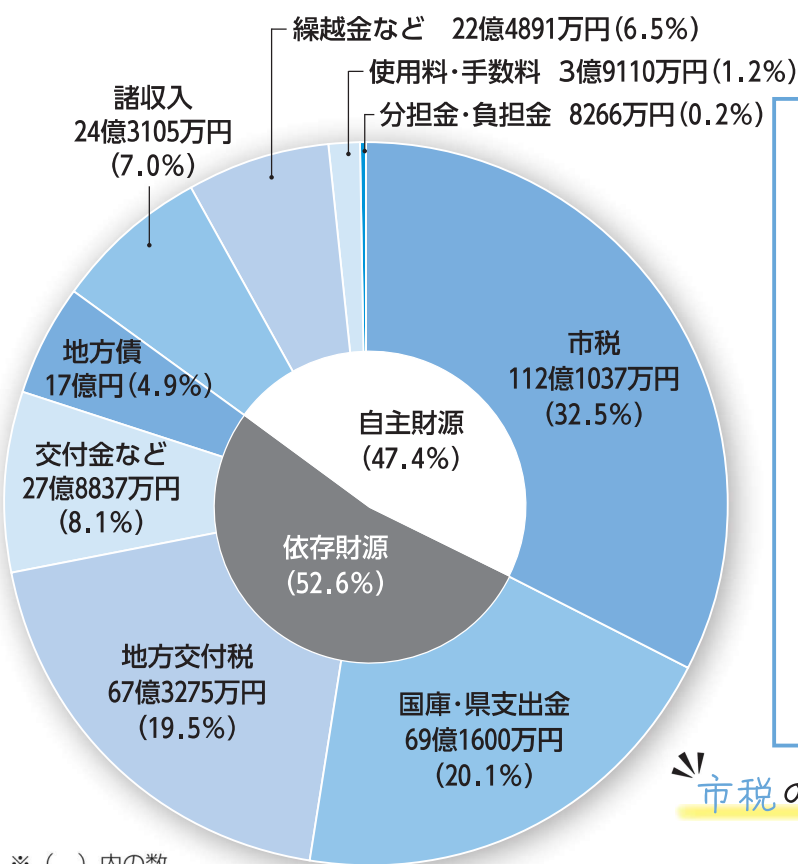
令和7年度

決算

令和7年度決算の概要と市の財政状況をお知らせします。7年度決算は、税収の増加などにより黒字決算となりました。

問 財政課 財政係 ☎0263⑤0280

歳入 345億121万円



用語解説

- 自主財源 市が自ら徴収または収納できる財源
 - 市税 市民や企業などが納めた税金
 - 分担金・負担金 特定のサービスを受けた人からの負担金など
 - 使用料・手数料 保育料や市の施設の使用料、証明書発行手数料など
 - 繰越金など 前年度の繰越金や、基金を取り崩した繰入金、ふるさと寄附金など
 - 諸収入 貸付金の元金収入など
- 依存財源 国や県などから交付または借り入れた財源
 - 国庫・県支出金 特定の目的のために国や県から交付されたお金
 - 地方交付税 市が全国標準的な行政サービスを提供するため、国が地方に代わり徴収し、財政状況に応じて交付される地方税
 - 交付金など 国から一定の割合で配分、譲与されたお金
 - 地方債 市が大規模な事業を行うために、国や銀行から借り入れたお金

市税の内訳は…

入湯税
3万円
(0%)

鉱産税
11万円
(0%)

軽自動車税
2億8,277万円
(2.5%)

都市計画税
4億2,631万円
(3.8%)

市たばこ税
4億3,778万円
(3.9%)

市民税
(個人・法人)
49億9,121万円
(43.8%)

固定資産税
51億5,425万円
(46.0%)

※ () 内の数値は構成比です。

教育

小・中学校の児童生徒用タブレットを更新 2億3,437万円

更新時期を迎えた児童生徒用のタブレットの更新を実施。ICTを活用した個別最適な学びと、協働的な学びによる主体的・対話的で深い学びを推進するため、教育環境の充実を図りました。



令和7年度に取り組んだ事業の一部を紹介합니다。



令和7年度決算の状況

歳入 では、固定資産税および個人市民税が増加し過去最高額となったほか、法人市民税も増加したことにより、市税収入が前年度より6.1%増加しました。一方、借金に当たる地方債は、えんぱーくの大規模改修が完了したことなどにより、42.4%減少しました。

歳出 では、会計年度任用職員の賃金改定および勤勉手当の新設などにより、人件費が前年度より7.6%増加しました。また、児童手当や物価高対応子育て応援手当の増加などにより、扶助費が12.9%増加しました。

令和7年度一般会計決算概要

歳入総額 (A)	345億5375万5311円
歳出総額 (B)	339億4782万3154円
歳入歳出差引額 (A-B)	6億593万2157円
翌年度へ繰り越すべき財源 (C)	9705万9869円
実質収支額 (A-B-C)	5億887万2288円
実質単年度収支額	6534万9604円



令和7年度末の基金残高

基金合計	99億1688万2686円
うち財政調整基金※	53億2932万5500円



※年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金。財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害などやむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用します。標準財政規模の10～20%程度（本市の場合は19億～38億円）が目安とされています。

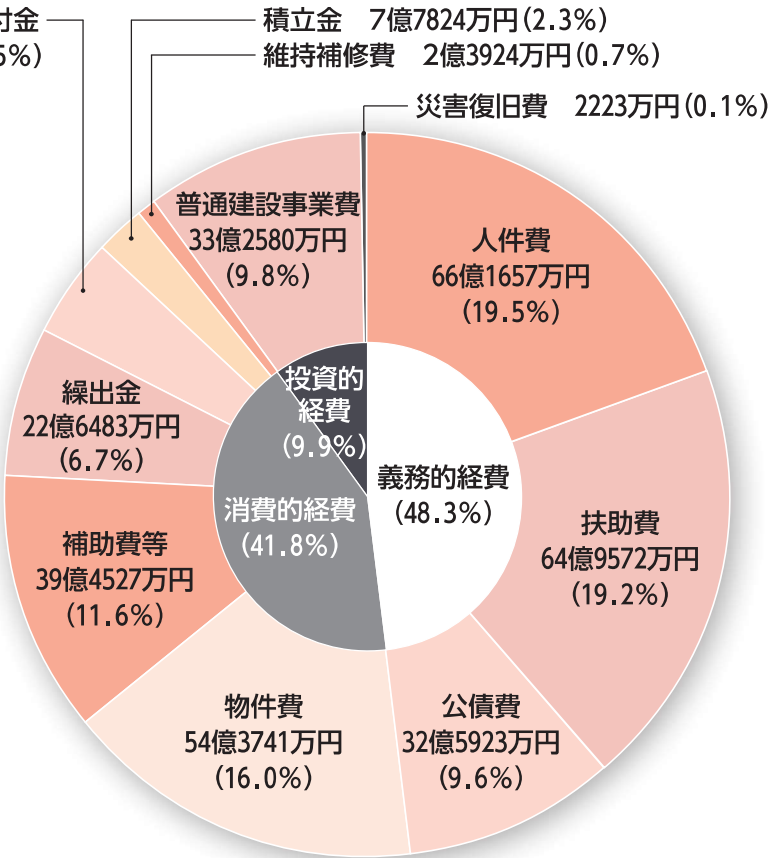
上記は、基本的な行政サービスの経理をまとめた「一般会計」で表しているのに対し、下のグラフは、全国の地方自治体の財政状況を統一的に把握・比較するために国が定める基準でまとめた「普通会計」で表しているため、金額が異なります。

歳出 338億9528万円

用語解説

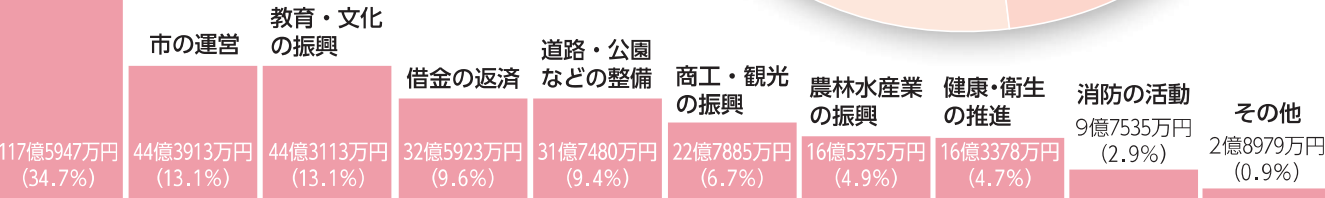
- 義務的経費 支出が義務付けられている経費
 - 人件費 市職員の給与や市議会議員、各種委員報酬など
 - 扶助費 生活保護費、各種医療費の助成など
 - 公債費 借り入れた地方債（借金）の返済金
- 消費的経費 市が行うサービスのうち、形を残さない性質の経費
 - 物件費 光熱費、消耗品費、委託料や使用料など
 - 補助費等 特定の事業や団体への補助金や交付金
 - 繰出金 国保会計など他会計へ繰り出したお金
 - 投資・出資金・貸付金 融資資金などの貸付金
 - 積立金 特定の目的のために基金へ積み立てたお金
 - 維持補修費 道路や施設などの維持補修費
- 投資的経費 道路や学校、公園などを整備するための経費
 - 普通建設事業費 道路や学校、公園などの公共施設の建設費など
 - 災害復旧費 災害時の公共施設の補修費など

投資・出資金・貸付金
15億1074万円 (4.5%)



福祉の充実

目的別にすると



公共施設

レザンホールの大規模改修に着手

2614万円

開館から約30年が経過したレザンホールの安全性と快適性を確保するため、吊り天井の耐震化と、施設・設備の改修工事に着手しました。事業期間は、令和7～9年度の3年間で。



地域

北小野地区に集落支援員を配置

400万円

地域資源を発掘・活用し、魅力を磨き上げる「北小野地区ブランドデザイン」を推進するため、集落支援員を2人配置。地域の何気ない当たり前を再発見し、次世代へ伝えていけるよう「暮らしの教科書」の作成などを行いました。



交通

すてっぷくん・のーと塩尻にICカードを導入

3724万円

地域振興バス「すてっぷくん」とAI活用型オンデマンドバス「のーと塩尻」を運行し、地域公共交通の確保・維持に努めました。令和7年度は、車両に「地域連携ICカード」の決済端末を設置し、キャッシュレスでも乗車できるようになりました。





もっと詳しく！

市ホームページでは、
決算に関するさまざまな
資料をご覧いただけます。



収入（歳入）

項 目		決算額
給料	市税	162万4500円
親からの仕送り	・地方交付税 ・国庫・県支出金 ・交付金	238万2000円
アパートの家賃収入などの副収入	・分担金・負担金 ・使用料・手数料	6万8500円
諸手当	・財産収入 ・寄付金 ・諸収入	49万8000円
昨年度の差引残高	繰越金	7万9000円
預貯金の取り崩し	繰入金	10万1500円
ローンの借り入れ	地方債	24万6500円
合 計		500万円

UP! ↑

7年度は給料（市税）が多かった

親（国・県）からの仕送りに頼って生活している状態

7年度の差引残高 9万円

借金残高 3754万円

貯金残高 1314万円

（うち住宅用定期預金 152万円）

Check!

住宅（公共施設）の補修のために、計画的な貯金が必要

市民サービスと健全財政を両立させる取り組みを進めています

行財政改革による見直し

「人件費が多い」「経常収支比率が上昇傾向」といった課題に対応するため、適正な職員配置や必要な市民サービスの水準などについて、あらゆる角度で事業の見直しを進めています。

公共施設整備のための基金への積み立て

令和6年度に「公共施設等整備基金」を設置し、7年度末までに10億4887万円を積み立てました。公共施設の大規模な更新に備えるため、今後も計画的に積み立てていきます。

公共施設の整備計画を策定

令和8年度中に「公共施設整備計画」を策定し、施設整備の優先順位や更新・統廃合・長寿命化などの方針を定め、施設の最適化を進めます。

地方債残高の抑制

レザンホールの改修などにより、今後は地方債残高（借金）が増加する見込みです。事業の取捨選別や平準化により、借金の抑制に努めます。

家計に例えると…

- 食費などの生活費を見直して、自由に使えるお金を増やそうにします。
- 将来の家の建て替えに備えて、定期預金に積み立てます。
- 家の建て替えや車の買い替えなど、優先順位を考えて決めていきます。
- 欲しいけれど我慢するものを決めて、ローンの借り入れが大きくなりすぎないようにします。

修費が必要になります。収入が足りない場合は、積立金（貯金）を取り崩したり、地方債（借金）を借り入れたりして費用を賄うことになります。

家計に例えると…

- 自由に使えるお金が年々減ってきている。
- これから年をとると、給料などの収入が減る一方で、医療費などの出費が増える。
- 家も古くなってきて、修理にお金がかかる。

市の決算を**家計**に例えてみました

塩尻市の財政はどんな状態？

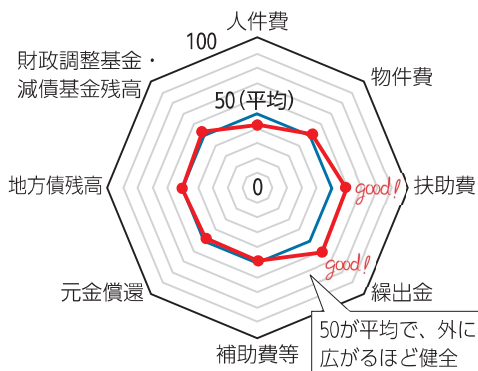
市の決算や財政の状況についてイメージしやすいように家計に例えてみました。

全国と同じ規模の市との比較では**健全**

塩尻市の財政の特徴

※令和6年度決算の比較

- 保育園や図書館に人員を手厚く配置しているため、人件費が平均より多い。
- 扶助費と繰出金は平均より少ない。
- 地方債残高（借金）と財政調整基金残高（貯金）は平均並み。



家計に例えると…

- 他の家庭に比べて食費が高い。
- 医療費や子どもへの仕送りは低く抑えられている。
- ローン残高と貯金額は平均並み。

7年度は黒字。でも、将来に目を向けると…

支出（歳出）

支出のトップ3

項 目		決算額
生活費	食費 人件費	95万7400円
	医療費、子育て費用 扶助費	94万2700円
	光熱水費 物件費	78万5600円
保険、税金		補助費等 56万9600円
子どもへの仕送り		・投資・出資金・貸付金・繰出金 54万9900円
貯金		積立金 11万2900円
ローン返済		公債費 47万1400円
家の増改築、補修		・維持補修費・普通建設事業費・災害復旧費 52万500円
合 計		491万円

高齢化が進むと医療費（扶助費）が増えていくことに…

DOWN

ローンの返済が増えて、貯金にまわせるお金が減ってしまった…

これから老朽化が進むと、もっと増えていきそう…

Check!

貯金に対して借金が多い！

令和7年度が黒字決算だったので、市の財政は引き続き「健全」な状態です。ただし、将来に目を向けると、次のようなことが想定されます。

経常収支比率の上昇

毎年必ず出ていくお金の割合を示す経常収支比率は92.5%で、近年上昇傾向です。割合が大きくなると、自由に使えるお金が少なくなります。

人口減少・少子高齢化による影響

収入の減少、扶助費の増加など、さまざまな影響が考えられます。

公共施設の老朽化による影響

老朽化した施設の建て替えなどの事業費、道路や水道管などの維持補